

「ピンクのガウン」

先月、福岡マラソンを走ってきた高野です。気候も良く、10キロ、15キロと絶好調。ところが20キロくらいから異変が……。足が全然前に進まなくなったのです。あとあと調べるとリタイアする人はだいたいこんな感じのようですが、この時点ではまだ本当に自分がリタイアするなんて夢にも思っていませんでした。

福岡マラソンはお祭り気分のランナーも多く、大学生が法被着て走ったり、まんがキャラクターの被り物してるのも可愛く見えます。でもそれは自分に余裕がある時の話で、折り返しくらいからそんな余裕もなくなっていました。

そしてちょうど折り返し地点で事件は起きるのです。角刈りの男に追い抜かれたのです。その男はピンクのガウンを着て、大きな白い羽をつけ、背中には「おかま道」と書いているではありませんか！
それを見た瞬間、心は折れ、足が止まりました。

「俺は、俺は・・・そんな多様性なんか認めんけんね」そう呟きながら歩き始めました。沿道から響く「頑張れ～」という声援も苦痛に変わります。
「もうこれ以上頑張れんくらい頑張っとるのに・・・」

まだ「ナイスラン！」と言われると、歩いてても救われる気がします。結局折り返し地点から、ほぼウォーキングでした。吐き気、寒気、腹痛と最悪の状態。とうとう30キロの救援所でリタイア。3回目の挑戦にして初めての失態です。

リタイア組はバスに乗ってゴール地点まで運んでもらえるのですが、車内はま～見事にどんよりとした雰囲気。マラソンをナメてたのかも知れないなあ～と猛反省。しかし、人の不幸は蜜の味というように、レース後「どうやった？」と聞かれ「恥ずかしながらリタイアしました」って答えるとみんな何故かニヤッとされます。それがまた妙に悔しくて……。

こんな敗北感を味わったのはいつ以来でしょうか？そんな訳で、来年3月の佐賀桜マラソンに向けて熱心に練習するようになりました。
人は悔しい想いをするからこそ、本気に向き合うのかもしれない。今までマラソンなんて完走すれば十分と思ってましたが、急に完走目標タイムも湧いてきましたし。
「次は、あのオカマに負けんけんね。」そんな感じで走る今日この頃です。

今までの最高記録が5時間29分の亀さんランナーの私ですが、来年は一気に1時間以上縮めて、「サブ4（4時間切り）ランナーになる！」そう宣言して2024年を終わります。皆さま、今年もご愛顧のほど有難うございました。良いお年をお迎えください。